



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

PTA 定期総会 書面開催

5月6日(金)、PTAの定期総会が書面にて開催されました。旧本部・新本部候補の方々が集まってくださいました。学校からは、校長、教頭が参加しました。定期総会資料の内容に沿って、参加者で確認をさせていただき、全ての議案に関して承認されました。候補であった新本部の方々の承認もされましたので、新本部の方々を中心に、PTA活動が開始されます。今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。また、昨年度におかれましては、旧本部の方々、各委員の方々を中心にして、学校の教育活動を支えてくださったこと、感謝申し上げます。

私は、昨年度着任いたしましたので、PTAの方々に1年間関わらせていただきました。皆様が大変仲が良く、お互いを信頼し合い、前向きで建設的な話し合いを行っていて、素晴らしいPTAであると常日頃から感じておりました。そのような素晴らしいPTAは、日々のコミュニケーションを大切にし、一人一人の思いに寄り添う姿勢を貫いてこられた臼井会長のリーダーシップと古澤顧問の支えがあったこと、その中で、阿部副会長を始めとするPTAの皆様が一致団結して協力体制を築き上げてきたからであることを、今回の定期総会における旧本部の方々からの言葉を伺い、改めて理解いたしました。

「すべては子供たちの幸せのために」という言葉を、臼井会長は役員会や運営委員会の中で大切に話されていました。私たち、教職員も、『TIME IRIYA』として、同じ言葉を大切にしております。この合言葉で、家庭・

地域とともに歩む学校を目指してまいりたいと思います。

子供の思いや考えを大切に

先日、NHKの番組で、日本の精神的幸福度が38か国中37位である(ユニセフ調査:2020年)という結果が出ていると取り上げられていました。子供の幸福度を上げていくために、主体性を尊重すること、子供たちの声に耳を傾けていくことが重要であるとのことで、保育園の子供たちが、円になってミーティングを行い、保育士は一人一人の意見を受け止めるという活動の様子が紹介されていました。自分が話したことを聴いてもらっている時の輝いている表情が印象的でした。自分の思いを知り、自由に表現し、その思いを否定されることなく受け止めてもらえるという日々の体験は自分自身を自分で受け止めていくことができる素地を培っていくと感じます。その体験の積み重ねが、自信をもって自己実現していく力になり、精神的幸福度の向上に繋がっていくのではないかと思います。

本校でも、今年度の重点目標を「自分の考えをもち、主体的に考え行動する子」とし、目標実現に向け、全職員で教育活動を進めています。子供たちに、「どうしたらいいと思う」「あなたは、どう思う」と問いながら、自分の思いに目を向けて考えさせたり、他者との交流活動等を通して考えをさらに深めさせたりして、行動に繋げていく…。そういった、日々の活動を大切に積み上げ、子供たちの持続する幸せ(Well-being)に繋げていきたいと思ひます。